



平成 26 年 10 月 29 日

各位

上場会社名 株式会社アーレスティ
 代表者 代表取締役社長 高橋 新
 (コード番号 5852)
 問合せ先責任者 執行役員経営企画部長 辻 鶴男
 (TEL 03-6369-8664)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 5 月 9 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 27 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	65,500	1,700	1,300	850	32.91
今回発表予想 (B)	65,500	450	40	△110	△4.26
増減額 (B-A)	0	△1,250	△1,260	△960	
増減率 (%)	0.0	△73.5	△96.9	—	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	58,111	855	779	2,428	112.57

平成 27 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	135,300	4,800	4,000	2,500	96.81
今回発表予想 (B)	135,900	1,800	700	400	15.49
増減額 (B-A)	600	△3,000	△3,300	△2,100	
増減率 (%)	0.4	△62.5	△82.5	△84.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	126,783	4,449	4,012	6,272	287.10

平成 27 年 3 月期第 2 四半期 (累計) 個別業績予想数値の修正 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,300	750	1,050	750	29.04
今回発表予想 (B)	35,000	830	1,250	950	36.79
増減額 (B-A)	700	80	200	200	
増減率 (%)	2.0	10.7	19.0	26.7	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	34,139	672	950	2,047	94.92

平成 27 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 26 年 4 月 1 日～平成 27 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	71,700	2,000	2,300	1,500	58.08
今回発表予想 (B)	72,500	2,150	2,550	1,750	67.77
増減額 (B-A)	800	150	250	250	
増減率 (%)	1.1	7.5	10.9	16.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 26 年 3 月期)	71,439	1,962	2,487	4,583	209.81

修正の理由

国内の売上高は消費増税に伴う反動減の影響は想定よりも大きかったものの、地金市況が想定よりも高くなっている影響から、ほぼ当初予想通りに推移する見込みであり、北米の売上高は販売量の増加及び為替影響により、当初予想よりも増加することが予想される一方で、主に中国での販売量減少に伴いアジアの売上高の減少が予想されることから、連結売上高はほぼ当初予想通りに推移する見込みです。利益面では、主に北米での増産対応への遅れに伴う費用増の影響及びアジアでの売上減少に伴う影響により、連結の利益は当初予想を大きく下回る見込みです。個別業績の利益面については、経費削減等の効果により当初予想を上回る見通しです。なお、北米については、収益の改善を図るべくプロジェクトを立ち上げ、生産性改善等の施策展開に取り組んでおります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上

業績予想の補足資料

通期連結業績予想のセグメント情報

セグメント	売上高 (百万円)			セグメント利益 (百万円)		
	前回予想	今回予想	増減	前回予想	今回予想	増減
ダイカスト事業 日本	63,300	63,600	300	2,930	2,780	△150
ダイカスト事業 北米	36,400	38,600	2,200	850	△1,300	△2,150
ダイカスト事業 アジア	29,300	27,200	△2,100	950	300	△650
アルミニウム事業	4,700	4,900	200	50	0	△50
完成品事業	1,600	1,600	—	20	20	—

為替レート的前提（第 2 四半期以降）：105 円/米ドル、17.0 円/元、1.70 円/インドルピー

（前回予想：100 円/米ドル、16.5 円/元、1.65 円/インドルピー）

以上